

新幹線協議会代表者会議開催！

議論内容(要約)

本部主催「8・8安全集会」について

- ・「融合と連携」により、各地で様々な問題が噴出している実態が集会で明らかとなった。施策に対し社員のみならずお客さまも不満や不信感を抱いている。本当にこれで良いのか？
- ・要員がいわゆる「出面管理」となり、本当に必要な要員が確保されているか見えずらくなっている。「勤務が回ればそれで良い」となっているのではないか？
- ・休日勤務や副業で「賃金は自己責任で稼ぐ」という雰囲気が職場で醸成されてはいないか？安全や健康、働きがい置き去りにされていると感じる時がある。
- ・様々な場面で鉄道業の持つ「チームワーク」の要素が意図的に消され、個人がバラバラに業務をおこなうような雰囲気づくりが行われていると感じる。

職場実態、課題について

- ・121B 大滑走の事象について、原因分析や現行の対策の検証を会社は行っているのか？この間まったく説明等がされておらず疑問を感じる。
- ・カスタマーハラスメント(カスハラ)について、会社としての指針は発表されたものの、現場で具体的にどのように取り組んでいくのかという点が全く見えない。
- ・業務中の社員が勝手に動画撮影され、SNS や動画共有サイトで公開されている実態がある。ある社員は会社に訴えたものの個人での対応を示唆された。なぜ業務中の事象を個人で対応しなければならないのか？
- ・旅客からのハラスメント防止の為に、氏名放送のあり方についてももう一度議論が必要ではないか？開始当初とは社会環境が大幅に変化しており見直しが必要。
- ・一部検修職場において、作業ダイヤの変更が常態化している。日常業務に支障をきたす場面も見られるので早急な見直しが必要である。
- ・女性設備の整備、改良、修繕が未だに追いついていない部分がある。今後もしっかりと実態把握を行い、声を上げ続けて行く必要がある。